



2024年5月9日
東日本旅客鉄道株式会社
JR東日本スタートアップ株式会社

JR 東日本スタートアッププログラム 2023 秋の採択企業について

～8 件の提案を採択、DEMO DAY（発表会）で“スタートアップ大賞”を決定します！～

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：喜勢 陽一、以下「JR 東日本」）と JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田 裕）は、ベンチャー企業や優れた事業アイデアを有する方々との協業によるビジネス創造活動「JR 東日本スタートアッププログラム」を進めています。
- 7 年目となる今回は、さらなるオープンイノベーションを推進するため、春と秋の年 2 回募集を実施。「地域共創」「デジタル共創」「地球共創（SDGs）」の 3 つをテーマに掲げ、未来を見据えた協業をベンチャー企業の方々と進めています。
- 秋の募集では、2023 年 10 月から参加を募り、合計 116 件の提案の中から 8 件を採択しました。
- 採択した提案および協業内容の DEMO DAY（発表会）を開催し、優れた提案に対して総合グランプリの「スタートアップ大賞」、「優秀賞」を決定します。採択企業は JR 東日本グループと協業し、応募から約 1 年間のプログラム期間内で、順次テストマーケティングを行っていきます。

1. 2023 秋の採択企業について

秋の募集では、2023 年 10 月から参加を募り、合計 116 件の提案の中から 8 件を採択しました。自社の製品・サービスまたはプロトタイプを有する、概ね起業 10 年以内の企業を対象に、プログラム期間内のテストマーケティングを実施することを目指します。また、創業間もないベンチャー企業についても JR 東日本グループにおける事業アイデアの採用や当社グループの支援のもと事業の具体化を検討していきます。

「2023 秋の採択企業」

株式会社 any style

株式会社 GRAND GIFT

YUIME 株式会社

株式会社 AYUMI BIONICS

株式会社 SUSHI TOP MARKETING

株式会社 マップフォー

株式会社 ePARA

株式会社 humorous



▲採択 8 社の企業ロゴ一覧

「JR 東日本スタートアッププログラム」とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募りブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017 年度に初めて開催し、今回を含めてこれまでに計 128 件の提案を採択。内閣府主催の 2018 年度第 1 回日本オープンイノベーション大賞において経済産業大臣賞を受賞、2020 年度第 3 回同賞において環境大臣賞を受賞しました。



2. DEMO DAY（発表会）について

採択された 8 件の提案の中から社外審査員を交え「スタートアップ大賞」「優秀賞」を決定します。DEMO DAY の様子はオンライン配信でご覧いただけます。受賞企業および受賞者については、後日ウェブサイト (<https://jrestartup.co.jp/program/>) 等でもお知らせいたします。

(1) 開催日

・2024 年 6 月 6 日（木） 14 時から

・オンライン配信視聴申込 URL : <https://jresup2023autumn.peatix.com/>

(2) 審査員（50 音順）

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ
一般社団法人スタートアップ・エコシステム協会
株式会社 ABAKAM
東日本旅客鉄道株式会社

共同創業パートナー
代表理事
代表取締役
代表取締役副社長イノベーション戦略本部長
常務取締役グループ経営戦略本部長
執行役員マーケティング本部副本部長

仮屋 聡一氏
藤本 あゆみ氏
松本 直人氏
伊勢 勝巳
伊藤 敦子
竹島 博行

		
仮屋 聡一 株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 共同創業パートナー	藤本 あゆみ 一般社団法人スタートアップ・エコシステム協会 代表理事	松本 直人 株式会社 ABAKAM 代表取締役
グロービス・キャピタル・パートナーズを 1996 年設立。日本ベンチャーキャピタル協会最高顧問。有力ベンチャー企業への投資およびキャピタリスト育成などスタートアップエコシステム開発に幅広く従事。	2002 年にキャリアデザインセンターに入社。Google で営業マネージャーを経て、2016 年に at Will Work を設立。お金のデザインを経て、Plug and Play 株式会社で CMO としてマーケティングと PR を統括。2022 年にはスタートアップエコシステム協会を設立、代表理事に就任。	2002 年フューチャーベンチャーキャピタル(株) (FVC) 入社、2016 年に当時上場金融会社として最年少で代表取締役社長に就任。創業 & 事業承継ファンド、社会課題解決ファンド、CVC ファンド等約 50 本総額 240 億円のファンドを設立。2022 年 FVC 社長を退任、(株)ABAKAM を設立。

JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都港区高輪 2-21-42 TokyoYard Building 6・7F

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株主：東日本旅客鉄道株式会社（100%）

設立日：2018 年 2 月 20 日

出資枠：50 億円

連絡先：E-mail info@jrestartup.co.jp

ホームページ <https://jrestartup.co.jp>



あなたの夢を未来へつなぐ
『明日』創造ステーション

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブにお届けしています。

【報道機関お問合せ先】

東日本旅客鉄道株式会社 コーポレート・コミュニケーション部門 TEL 03-5334-1300
JR 東日本スタートアップ株式会社（担当：小坂） TEL 03-6778-4366

■ 募集テーマ

地域共創

… 観光資源の活用や MaaS などによる新しい旅や働き方、地域産業との連携による新たなビジネス創出など、沿線生活における駅などの資産の新たな価値創造

デジタル共創


… AI やロボティクス、ドローンなどによる生産性向上、Suica をはじめとしたデータ資産の活用など、リアル×デジタルのくらしづくり

地球共創(SDGs)


… カーボンニュートラル、エネルギー、サーキュラーエコノミーなど、持続可能社会実現への挑戦

■ 採択企業およびテストマーケティング詳細


1. 株式会社any style (代表取締役：萩原 湧人)

	<p>JRE MALL を活用した VTuber の推し活による地域のファンづくり</p> <p>JRE MALL で、観光キャンペーンに合わせた VTuber による地産品のライブコマースの展開を図ります。またリアル拠点と連動したイベントを実施することで、地域や地産品に愛着を持ってもらい、実際に現地に行くきっかけを作り、VTuber ファンへの推し活による観光流動の創出を図ります。</p> <p>実施箇所：JRE MALL、JRE MALL Cafe 等</p> <p>実施期間：2024 年 5 月～</p>
---	---

2. 株式会社GRAND GIFT (代表取締役：小林 隆英)


	<p>クラフトコーラ製造を通じた地域活性と水源の保全活動</p> <p>利根川の源流であるみなかみ地域の水源水と特産物を活かしたクラフトコーラを町や地元事業者と連携して製造します。地域と連携した製造拠点をすることで雇用を生み出すと共に、地域の魅力である温泉・サウナ、アウトドアとドリンクの相性の良さを活かして誘客効果やお土産需要の創出を目指します。また、売上の一部を水源の保全活動へ寄付し、サステナブルな社会に貢献します。</p> <p>実施箇所：みなかみ町</p> <p>実施期間：2024 年 7 月～</p>
---	--

3. YUIME株式会社 (代表取締役社長：上野 耕平)


	<p>特定技能外国人を活用した一次産業の働き手不足解消による地方創生</p> <p>繁忙期の働き手不足により、産地維持が難しくなっている 1 次産業に向けて、特定技能外国人の活用や派遣を促します。異なる業種を組み合わせ、繁閑の差を利用して人材の流動性を高めることで、同一地域内で働ける機会を増やします。また、リクルーティングサイトを活用して地方の魅力を発信し、移住者・後継者を増やすなどの取組みも行い、域内の労働人口の増加を目指し地域の活性化を行います。</p> <p>実施箇所：東北エリア</p> <p>実施期間：2024 年 6 月～</p>
---	--

4. 株式会社AYUMI BIONICS ^{アユミ バイオニクス}（代表取締役：田脇 裕太）


※課題先行型マッチングイベント「STARTUP PITCH」からの採択

	デジタル共創	従業員の心身機能管理による長期雇用率向上および採用力強化 AYUMI Scan による JR 東日本環境アクセス（JEA）所属従業員の労災・離職リスク等の定期測定およびフォローアップを通して、健康増進プログラムを開発します。また、JEA における健康経営の取組を深度化し「健康になれる職場」として対外的に発信することで、採用力強化をめざします。
		実施箇所：JR 東日本環境アクセス、JR 東日本スポーツ
		実施期間：2024 年 5 月～

5. SUSHI TOP MARKETING株式会社 ^{スシ トップ マーケティング}（代表取締役社長：徳永 大輔）


	デジタル共創	旅行体験のアップデートによる JR 東日本のお客さまづくり・ファンづくり JR 東日本グループが提供する様々なサービスと NFT を掛け合わせることで、サービスのアップデート、お客さまとのコミュニケーションのアップデート、そして旅行体験そのもののアップデートを目指します。
		実施箇所：Tabi-Connect、プレイアトレ土浦 ほか
		実施期間：2024 年 7 月～

6. 株式会社マップフォー ^{イ-パラ}（代表取締役：橋川 雄樹）


	デジタル共創	高速・高精度な点群処理技術を活用した鉄道 DX の実現 短時間・簡単・高精度に 3 次元点群データを取得でき、また自動で点群データに意味付けする技術による工事作業後の安全確認業務の自動化や工事での検査、鉄道構造物維持管理での点群データの最大限活用にチャレンジします。
		実施箇所：首都圏エリア鉄道設備
		実施期間：2024 年 5 月～

7. 株式会社ePARA ^{イ-パラ}（代表取締役：加藤 大貴）

※未来変革パートナーシッププログラム（<https://jrestartup.co.jp/partnership-program/>）からの採択

	地球共創(SDGs)	バリアフリーe スポーツを起点とした共生社会の実現 e スポーツを起点に、障害の有無にかかわらず就労・交流できる機会を創出し、障害のある方が自分らしくやりがいをもって社会参加できる共生社会の実現を目指します。
		実施箇所：Café&Bar RAGE ST、TokyoYard Building ほか
		実施期間：2024 年 5 月～

8. 株式会社humorous ^{ユーモラス}（代表取締役：田村 勇氣）

	地球共創(SDGs)	高輝度蓄光素材による鉄道設備の視認性向上および新たな価値創造 鉄道橋と一般道路の交差点に高輝度蓄光素材を設置することで、一般車両の追突事故低減を目指します。また、工事現場への活用やメディア媒体としての新規開発についても検証し、鉄道工事の事故低減および新たな価値創出にも挑戦します。
		実施箇所：宮城エリア鉄道橋、首都圏駅構内および駅周辺
		実施期間：2024 年 7 月～